

もっと安心農産物 コカブ(冬どり) 栽培暦(令和6年度)

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

1. 土づくり
- ・完熟堆肥2トン／10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする
2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量9kg／10a以下**
- 基肥は①、②、③のいずれかを選択する。**

	肥料名	施肥量
基肥	①有機アグレット美白名人こかぶ専用(10－10－8 有機態窒素 3)	120kg／10a以下
	②有機化成NN121号(10－12－10 有機態窒素 1.5)	70kg／10a以下
	③ちばみどり有機888(8－8－8 有機態窒素 1.2)	120kg／10a以下
	苦土重焼燐	40kg／10a
	硫マグ	40kg／10a

3. 防除 **化学合成農薬 3成分回数まで**
- (Zボルドー・エスマルクDF・スピノエース顆粒水和剤は化学合成農薬に含めない)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈 倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施)
9月 月上旬		(ネキリムシ 白さび病) (ハイマダラノメイガ・キスジノミハムシ) ヨトウムシ					
中旬							
下旬	施肥		①フォース粒剤	4kg／10a (播種時)	1回	キスジノミハムシ	害虫防除のため、寒 冷紗でトンネル被覆 する
10月 月上旬	は種						アブラムシ等の防除の 為、圃場周辺の除草を する
中旬			Zボルドー	500倍	－	黒腐病	
下旬			スピノエース 顆粒水和剤	5000倍 (収穫前日)	3回	ハモグリバエ類	
11月 月上旬			②モスピラン 顆粒水溶剤	2000倍 (収穫21日前)	1回	キスジノミハ ムシ アブラムシ類	
中旬			③ランマン フロアブル	2000倍 (収穫3日前)	3回	べと病 白さび病	
下旬			エスマルクDF	1000～2000倍 発生初期 (収穫前日まで)	－	コナガ	
				1000倍 (収穫前日ま で)		ヨトウムシ ハイマダラノメ イガ	
12月 月上旬～			④ダントツ水溶剤	2000～4000倍 (収穫3日前)	3回	アブラムシ類	
1月下旬							
2月上旬	収穫 ↓						
中旬							
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準